脳神経内科

【研修目標】

１　一般目標

日常診療で必要な神経学的診察技術を身につけることを目標とする。さらに実際の神経疾患の診察、検査、治療を経験し、より幅広い神経学的知識や手技、診療能力を習得する。

２　行動目標

入院患者の受け持ち医として、神経内科学における基本的な　診察手技、検査の手順方法を習得し、めまい、髄膜炎、脳卒中などの病態を把握、各種疾患にたいする点滴、処方などの治療法を研修する。

【研修方略】

１ 研修期間

２～４ヶ月間とする

２ 研修評価方法：以下の項目について　評価を行う。

（１） 神経学的診察

① 意識状態の評価ができる。

・Japan coma scale、 Glasgow coma scale を用いた評価

・見当識障害と痴呆の鑑別

② 診察手技を学ぶ。

・項部硬直の診察

③ 瞳孔所見の診察

・脳幹反射

・徒手筋力テスト

・四肢深部腱反射の診察

・病的反射

・四肢体幹失調の診察

・感覚障害の診察

・頚部血管雑音の診察

上記診察手技により局所診断をする。

脳卒中、特に脳梗塞患者については、rt－PA 静脈療法にも関連して NIHSS による評価ができるようにする。

④ めまいの診察ができる。

・眼振の診察

・平衡機能の評価

（２） 検査、診断

① 髄液穿刺ができる。

・髄液穿刺

・髄液所見の評価

② 頭部ＣＴの評価ができる。

・脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、特に脳梗塞に関しては超急性期の早期虚血性変化（earlg CT findings）を読影できるようにする。

③ 脳波の評価ができる。

・意識障害、てんかん、脳炎

（３）治療

① 脳梗塞の臨床的カテゴリーと機序の解釈ができ、基本的は治療方針がたてることができる。

② くも膜下出血、脳出血の初期治療ができる

・血圧管理

・脳神経外科へのコンサルテイング

③ てんかん発作の初期治療ができる。

・薬剤の選択

・血圧、呼吸の管理

④ 髄膜炎、脳炎の診断と治療ができる。

３ 週間予定表

曜日	午前	午後
月曜日	モーニングカンファランス (脳神経外科、放射線科とのカンファランスを含む) 病棟回診	病棟回診
火曜日	モーニングカンファランス クリニカルカンファランス（抄読会を含む） 経食道エコー検査（隔週）	リハビリ科とのカンファランス
水曜日	モーニングカンファランス	経頭蓋エコー検査 (レボビスト静注を含む)
木曜日	モーニングカンファランス	神経生理検査
金曜日	モーニングカンファランス	病理カンファランス 脳波判読会 ＣＰＣ

【研修計画責任者および研修指導医】

研修責任者　神経内科部長　今福　一郎

研修指導医

神 経 内 科 部 長　今福一郎（東京大学医学部医学科、昭和６３年卒）
内科認定医・指導医、神経内科専門医・指導医、脳卒中専門医
日本神経学会評議員、日本神経学会関東地方会世話人、
日本神経学会卒後教育小委員会委員、日本脳卒中学会評議員

神 経 筋 疾 患 部 部 長　中山貴博（筑波大学医学専門学群平成６年卒）
内科専門医・指導医、神経内科専門医・指導医、脳卒中専門医

救急災害医療部長　中森知毅（山口大学医学部　平成２年卒）
内科認定医、救急専門医、神経内科専門医・指導医、脳卒中専門医、ICLS ディレクター、JPTEC インストラクター
AHA-ACLS インストラクター、横浜救急指導医

神 経 内 科 副 部 長　北村美月（旭川医科大学　平成１１年卒）
内科専門医・指導医、神経内科専門医

脳神経血管内治療科副部長　戸村九月（産業医科大学　平成１９年卒）
日本脳神経外科学会認定専門医、日本救急医学会認定救急専門医

神 経 内 科 副 部 長　佐々木拓也（東京大学卒　平成２１年度卒）
内科認定医、神経内科専門医